項　目	内　容
名称	ブナハリタケ　[英]-　[学名]Mycoleptodonoides aitchisoni
概要	ブナハリタケは、古くから東北地方で食用に用いられているエゾハリタケ科の茸である。カミハリタケ、カヌカ、ブナカヌカなどとも呼ばれる。ブナなど広葉樹の枯れ木や切り株に群生する。
法規・制度	**■食薬区分** 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。 **■食品添加物** ・天然香料基原物質リスト 　ブナハリタケが収載されている。 **■特定保健用食品** ・ブナハリタケエキス （イソロイシルチロシン） を関与成分とした「血圧が高めの方に適する」保健用途が表示できる特定保健用食品が許可されている。
成分の特性・品質	

主な成分・性質		・ブナなど広葉樹の枯れ木や切り株に群生し、傘の裏面に垂れ下がる針状突起がある (101) 。
分析法		・ブナハリタケ子実体由来水抽出物中のイソロイシルチロシンをゲルろ過クロマトグラフィーにより分画し、アミノ酸シークエンサーおよびMALDI-TOF-MSにて分析した報告がある (2002251506) 。
有効性		
ヒトでの評価	循環器・呼吸器	**RCT** ・軽症および中等度の高血圧患者60名 (平均46.5±9.0歳、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、ブナハリタケ熱水抽出液0.5 g (試験群15名) 、0.75 g (試験群15名)、1.0 g (試験群15名)含有飲料/日を4週間摂取させたところ、いずれの群でも収縮期血圧の低下が認められ、0.75 g群ならびに1.0 g群で拡張期血圧の低下が認められた (2002102573) 。 ・正常高値血圧および軽度高血圧患者60名 (試験群30名、平均50.2±9.9歳、日本) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、ブナハリタケ熱水抽出液配合飲料120 mL (イソロイシルチロシンとして10.8μg含有) を8週間摂取させたところ、収縮期血圧、拡張期血圧の低下が認められた (2003249630) 。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献		(2002102573) 薬理と治療. 2001;29(11):899-906. (2003249630) 薬理と治療. 2003;31(3):239-46. (2002251506) 応用薬理. 2001;61(4/5):221-9. (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら　監訳 (101) スギヒラタケは食べないで！ 農林水産省 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)

© National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition. All Rights Reserved.